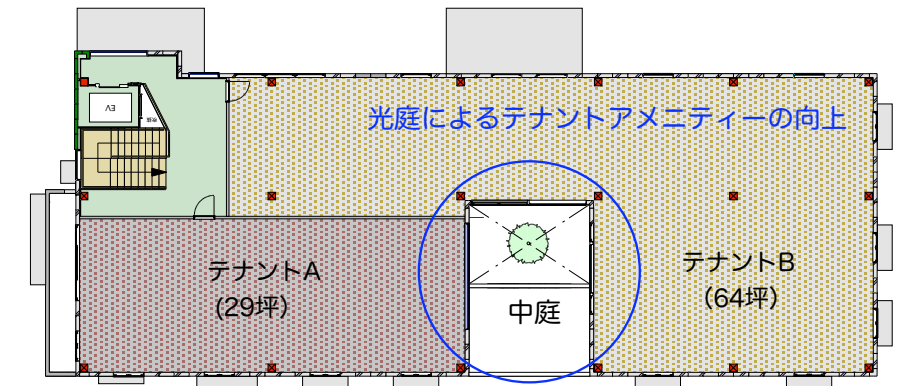


1.生活密着型メディカルプラザ

本プロジェクトの特筆すべき点は、その立地。既存のショッピングセンター駐車場を定借し、収益性の相乗効果をはかるとともに、生活と医療の結びをさりげなく行った「地域密着型集合診療所。今後は集客性ばかりでなく、文化施設、教育施設との複合もありえよう。

1.電子カルテを徹底して「対話時間」を長く、「待ち時間」を短く

これまでの、待ち合い、中待ち合い、診察、処置の流れを再考、電子カルテにふさわしい新たな診察スタイルを開発した。例として診察スペースとスタッフ、ドクターの移動と活動にフィットするデスク形態をあぶり出し、新たなワンマン/2診スタイルを作り出している。患者の待ち時間のストレスを軽減できるよう、レセプトから診療が終了する、その全体に「自然の光が感じられる」平面計画は、スタッフのストレス軽減にも大きく貢献している。新潟屈指の患者数を誇る整形外科となっている。



2階平面図

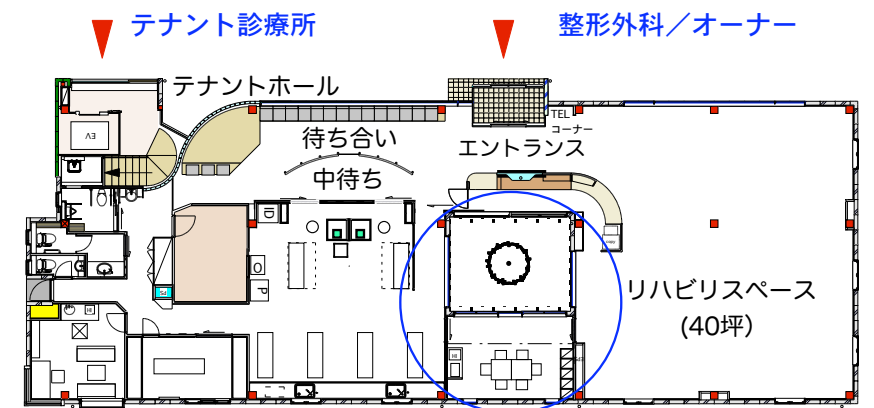
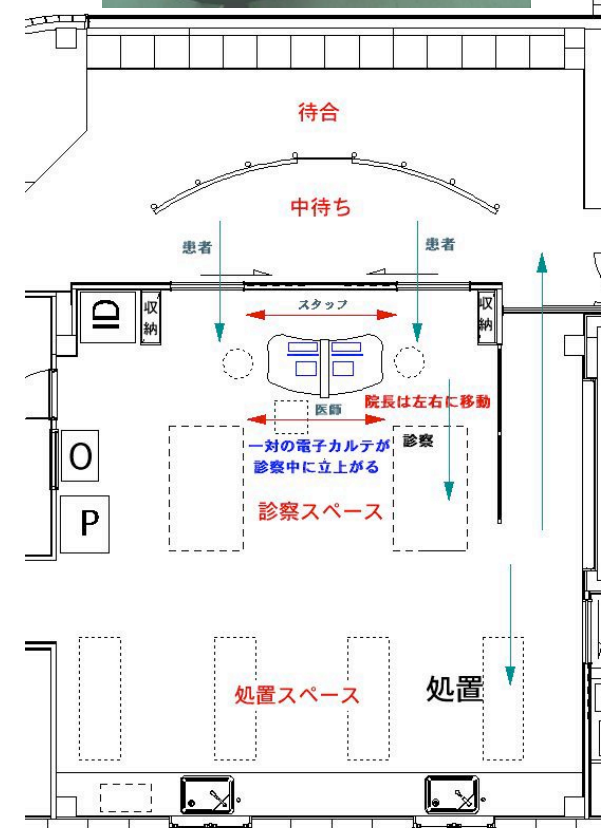
プラザ計画データ  
 プラザ全体面積215坪／整形外科107坪  
 テナントA / 歯科29坪、テナントB/介護事業OR眼科64坪



自然光あふれるレセプト



閉鎖的でない中待ち空間、プライバシー性の高い待ち合い



1階平面図

eメディカルプラザ計画コンセプト



自然光を感じる診察、処置空間

証明計画まで入念に気を配り  
 サロンのようにリラックスできるリハビリ空間



CIと建築の一体化により  
 地域への視認性を高め、サイン設置費用削減も促す

